

循環経済ビジョン 骨子案目次

1. 現状認識

(1)我が国における廃棄物対策・リサイクル推進の取組

- 1) 廃棄物対策・リサイクル制度の全体像
- 2) 背景となる社会情勢
- 3) 現行の廃棄物・リサイクル制度の成果

(2)循環経済ビジョンをまとめるにあたっての基本認識

1) 世界経済の成長に伴う資源投入量の増大

- ① 製品の段階での繰り返しの使用(ビジネスモデル、市場構造と顧客行動の変化)
 - (i) 顧客行動の変化
 - (ii) 機能提供に対応した製品設計の遡源
- ② 使用後の製品からの確実な資源回収(リサイクル)
 - (i) 素材ごとの横串での対応の重要性
 - (ii) 技術進歩によるリサイクルの高度化
 - (iii) 資源循環ビジネスの担い手の変化
 - (iv) 中国の廃棄物輸入規制の影響
 - (v) 3Rの高度化とリサイクル手法のバランスの再評価

2) 世界経済の成長に伴う環境の変化

- ① 新興国の成長に伴う廃棄物問題の顕在化
- ② 気候変動対策に伴う資源・製品リサイクルの重要性増大
- ③ 3Rの高度化とリサイクル手法のバランスの再評価【再掲】

2. 日本が直面する課題

(1)素材ごとの横串での対応の重要性【※項目は再掲】

(2)プレイヤーの生産性向上

(3)二次原材料の用途拡大

(4)労働力不足への対応

3. 今後の課題と方向性

(1)産業競争力の強化

(2)イノベーションの推進(オープンイノベーション/ベンチャー等によるイノベーション)

(3)ESG投資等資金の循環の促進

(4)モニタリングの仕組みの構築